



学校だより

令和4年10月3日発行

立川市立若葉台小学校 校長 松村 利一
〒190-0001 立川市若葉町1-13-1
TEL 042-536-3971 FAX 042-534-6943
HP <http://www.tachikawa.ed.jp/es21/>

学校行事や遊びを通して学べる事

校長 松村 利一

長引いているコロナ禍の中ですが、9月には6年生が日光移動教室、そして10月には5年生が八ヶ岳自然教室、たんぼぼ学級が御岳での宿泊行事を体験することができました。子供たちはもちろんのこと、ご家庭でも感染予防や体調管理に気を配り続けてくださったおかげであると思ひ、心より感謝しております。

さて、その宿泊行事ですが、その目的は「平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築いたり、集団への所属感や連帯感を深めたり、公衆道徳などについての体験を積んだりすること」です。子供たちに宿泊学習の感想を聞いてみたときに、「ホテルの食事や部屋がよかった」などの感想だけでなく「班で協力し合つて活動できた」「〇〇さんの素敵なところが発見できて、もっと仲良くなった」「みんなに迷惑かけないようにと頑張つた」などの感想も聞かれ、嬉しくなります。



【日光東照宮をグループで見学】

これこそが、家族での旅行とは目的を異にする、学校行事だからこそその体験であり、成果なのです。

子供たちは社会の中で様々な人間関係をつくっていかなければなりません。友達と一緒に遊ぶこと、学ぶこと、体験することなどによって、子供たちは他者との付き合い方を学びます。集団での遊びの中には、ルールやマナー、約束などがあります。順番を待ったり、ゆずったり、安全に配慮したりすることもそのひとつです。休み時間の様子を見てみると、高学年の児童が下の学年の子に遊ぶ場所をゆずってあげたり、危ない遊びを注意してくれたりしています。また、男女関係なくたくさんの仲間を楽しそうに遊んでいる姿もたくさん目にします。とても素晴らしい光景です。もちろん、友達と上手に遊ばず、けんかや口論をしてしまう場面も目にします。学校という場は、こういう経験も大切な学びとなります。どうすればけんかを避けられるか、どうすれば上手に仲直りができるか、そんなことをひとつひとつ学びながら、子供たちは日々成長を続けています。引き続き温かい目で見守ってください。



【中休みの子供たち】

11月は展覧会を予定しています。展覧会に向けての作品作りでも、子供たちは学び合いの経験を積んだりよりよいものにしようと最後まで粘り強く取り組む続ける根気強さや丁寧さを学んだりしています。子供たちの頑張つた成果をご覧いただき、ぜひ褒めてあげてください。